

◆企画名	<u>Welcome Festival Spring 2015</u>
日程	<u>平成27年4月5日(日)</u>
場所	<u>関西大学千里山キャンパス</u>
参加者数	<u>293名(ピア・サポータ13名、留学生会7名、一般学生72名、留学生201名)</u>
目的	

平成27年度の新入生と新留学生を主なターゲットとし、Welcome Festivalを行う。これからのキャンパスライフが充実したものとなるよう、いくつかのゲームを行い、友人を作る場を提供する。また、宝探しゲームを行い、大学内の散策やクイズを解くことでキャンパスの構造を楽しく理解してもらおう。最後に、留学生にKUブリッジ、留学生会を宣伝し、各種イベントに気軽に参加出来るようにする。

内 容

8:30 全体MT・会場設営
 10:30 受付開始
 11:15 開会式・アイスブレイク
 11:40 昼食
 13:00 コアタイム@BIG ホール
 14:00 宝探しゲーム
 15:15 100周年記念会館集合・閉会式
 16:00 終了・撤収・フィードバック



効 果

関西大学に新たに入学した学生たちがお互いに交流を深めることにより、これから始まる、関西大学での大学生活への不安や緊張を和らげることができた。

改 善 点

- ・雨天開催時の対応(シナリオ)をさらに深く考案しておくべきであった。
- ・参加者が使用するテーブルの番号が分かりにくかった。テーブル上に番号を書いた立札を置いてははっきりとわかるようにするべきである。
- ・コアタイム会場のBIGホールの席の場所を事前に確保しておくべきだった。
- ・宝探しゲームの順位の決め方が曖昧であった。順位決定方法を参加者に知らせるべきであった。
- ・Welcome Festival Spring 2015のスタッフがBIGホールで関西大学スプリングフェスティバルのスタッフと間違えられたため、腕章などによってWelcome Festivalスタッフであるという表示をはっきりさせることや、今年度の様々な対応事案をまとめて対応マニュアルを作成するということが必要であると思われる。
- ・国際部職員とスタッフの考えていることが一致していなかったため、実施当日に向けて余裕をもって実施計画を練り、共有をさらに密に行うべきである。今年度の場合、認識の不一致が発生したのは当日受付方法に関してであった。実施日直前に参加者数が知らされ、計画していた実施方法(特に受付方法)を急遽変更したため、受付方法の変更点に関する共有が実施当日になってしまった。

感 想

新年度が開始してすぐのイベントであったため、今学期から関西大学で学ぶ留学生はもちろん、日本人学生も多数参加しての大規模な企画であった。本企画に向けての準備は前年の秋頃から行っていたため、運営スタッフの努力は非常に大変なものだった。

大人数が参加するイベントということで、様々なトラブルが発生するなど、非常に運営側にとっては大変なことが多く起こった。しかし、大規模な国際交流イベントをやり遂げたという達成感はスタッフ一人一人の大きな財産になるだろう。